

2020年4月8日
ダイヤモンドエレクトリックホールディングス株式会社

新任技監のご紹介

元ダイハツ工業株式会社で長らくエンジン開発に携わってこられた山口桂一氏が当社技監（執行役員級）に就任しましたことをお知らせいたします。

当グループは、「中期経営計画 DSA2021：売上高 1000 億円、点火コイルシェア世界一」を掲げ事業展開を進めております。技監山口桂一の就任により、自動車機器事業における技術開発体制をより一層強化し「点火コイルシェア世界一」早期の実現、ひいては新たなビジョンである「車と家をものづくりでつなぐ」に邁進してまいります。

技監（執行役員級） 2020年4月1日付

〔氏名〕 山口 桂一 やまぐち けいいち

〔略歴〕

- 1975年 ダイハツ工業(株) 入社 エンジン部エンジン実験課
10年間ガソリンエンジン、ディーゼルエンジンの振動騒音低減技術の開発
- 1985年 エンジン部第四エンジン課
ダイハツ初のアルミニウムブロック採用の新型エンジンの機能開発
- 1989年 エンジン部第四エンジン課
ガソリンエンジンの制御・適合開発（国内・欧州・中国中心のエンジン制御）
- 2000年 パワートレーン部第二エンジン室
イオン検知を使った燃焼制御システムをダイヤモンド電機(株)と共同開発、量産化
- 2002年 エンジン部第二エンジン室 室長
小型車のエンジン制御・適合の開発
- 2005年 エンジン部第二エンジン室 室長
イオン検知での燃焼制御を進化、『触媒早期活性システム』を開発・量産化
- 2009年 第一エンジン部機能開発室 室長
エンジン制御開発の標準化、機能の先行開発
- 2010年 第二エンジン部 主査
以後、制御・適合全体の主査を担当